

教科・科目	保健体育・体育	単 位 数	3 単位	学年・学級	3 年必修
使用教科書	『現代高等学校保健体育』	副 教 材	『アクティブスポーツ』		

学校教育目標	郷土を愛し たくましく生きよう 自ら学ぶ意欲を持ち続けよう					
育成を目指す資質・能力	傾 聴 力		協 働 力	◎	議 論 する 力	◎
	自 省 力	◎	理 解 力		批 判 力	
	自己実現力	○	表 現 力	◎	情 報 活 用 力	◎
学習の到達目標	・生涯にわたり運動を实践できる基礎・基本的技能を習得する。 ・ルールやマナーを大切に、運動に主体的に取り組む楽しむ。 ・各領域・各種目の特性を学び、技の名称やルールを理解する。 ・自己や仲間の課題に応じた運動の取り組み方を考え、伝える力を身につける。					

評価の観点				
	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③知識・理解	④技能
A 使える	ルールやマナーを守り、取り組むべき課題を明確に把握し、課題に応じ主体的に運動に取り組むことができる。	既習の知識や技能を活用し、自己や仲間の課題に応じた解決に向け計画を立て実践し、他者にわかりやすく伝えることができる。	技の名称やルールの知識に加え、現代スポーツの特性を理解するとともに、運動の効率的な学習の仕方を理解できる。	自己の能力と運動の特性に応じた段階的な技能を身につけ、活用することができる。
B わかる	ルールやマナーを守り、取り組むべき課題を把握し、主体的に運動することができる。	既習の知識や技能を活用し、自己や仲間の課題に応じた解決に向け計画を立て実践し、他者に伝えることができる。	技の名称やルールの知識に加え、現代スポーツの特性を理解することができる。	自己の能力と運動の特性に応じた段階的な技能を身につけることができる。
C できる	主体的に運動に取り組むことができる	既習の知識や技能を活用し、自己の課題に応じた解決に向け計画を考えることができる。	技の名称やルールを理解することができる。	自己の能力に応じた技能を身につけることができる。
D	A、B、C いずれにも該当しない。	A、B、C いずれにも該当しない。	A、B、C いずれにも該当しない。	A、B、C いずれにも該当しない。
具体的改善策	・授業において主体的に運動に参加する。	・WS、GWノートに自己の課題や仲間からのアドバイス記入をする。	・ルールテスト合格	・各種目ワークシート記載の基礎基本技術を身につけること（実技試験）
評価基準	（ 30 点） A：21点 ～ 30点 B：11点 ～ 20点 C： 1点 ～ 10点	（ 20 点） A：14点 ～ 20点 B： 8点 ～ 13点 C： 1点 ～ 7点	（ 20 点） A：14点 ～ 20点 B： 8点 ～ 13点 C： 1点 ～ 7点	（ 30 点） A：21点 ～ 30点 B：11点 ～ 20点 C： 1点 ～ 10点
	何で評価するか ・ワークシート ・取り組み状況 ・単元毎の振り返り	何で評価するか ・ワークシート ・グループでの話し合い、発表	何で評価するか ・ワークシート ・ルールテスト ・審判	何で評価するか ・実技テスト ・試合

【学習計画】

月	単元	学習の目標【評価の観点：評価方法】	自己評価	実際評価
4	集団行動 体作り運動	🌀前期の目標		
		・集団で行動するにあたり、守らなければならない集団の秩序と機能を身につけることができる。 【③：取り組み状況】		
		・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や調和の取れた体力の向上を図るため運動の計画を立てて取り組むことができる。【②、④：WS】		

月	単元	学習の目標【評価の観点：評価方法】	自己評価	実際評価
5	器械運動	・運動観察の方法について理解し、述べたり、書き出したりすることができる。【③：WS】 ・生涯にわたって器械運動を豊かに実践するための自己の課題に応じた器械の取り扱い方や運動方法を工夫し安全に留意し、主体的に行うことができる。【①、②、③：取り組み状況、WS】 ・よい演技を讃えようとするすることができる。【①：取り組み状況】 ・滑らかに安定した基本的な技、条件を変えた技、発展技のいずれかをする事ができる。【④：スキルテスト】		
6	ダンス（学校祭）	・互いの違いやよさを認め合い、助け合い教えることができるなど、ダンスの学習に主体的に取り組むことができる。【①：取り組み状況】 ・体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともにダンスを楽しむための活動の方法や修正の仕方を身につけることができる。【②、③：取り組み状況】 ・リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊るための動きをすることができる。【③：アトラクション発表】		
7	陸上競技 新体力テスト測定	・体力のレベルについて理解し、その向上に努めるため主体的に取り組むことができる。【②、③：取り組み状況】 ・記録の向上に必要な技能を高め、運動を科学的に考える能力もあわせて身につけることができる。【④：取り組み状況、WS】		
9 10	ソフトボール 選択Ⅰ バレー バドミントン 体育祭 強歩遠足	・集団として運動を楽しむことができるよう、ルールやマナー、フェアプレイを大切に、運動に主体的に取り組むことができる。【①：取り組み状況】 ・仲間に対して技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘し、自己のチームや相手のチームにあった作戦を組み立てることができる。【②、③：取り組み状況、WS】 ・球技の特性に応じて、ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを高めて身につけることができる。【②、③：取り組み状況、WS】 ・技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げることができる。【③：WS】		
11 12	選択Ⅱ バスケットボール バドミントン	・後期の目標 ・集団として運動を楽しむことができるよう、ルールやマナー、フェアプレイを大切に、運動に主体的に取り組むことができる。【①：取り組み状況】 ・仲間に対して技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘し、自己のチームや相手のチームにあった作戦を組み立てることができる【②、③：取り組み状況、WS】。 ・球技の特性に応じて、ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを高めて身につけることができる。【②、③取り組み状況、WS】 ・技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げることができる。【③：WS】		
1 2	球技祭	・球技大会の企画・運営についての知識を学び、仲間と協力して運動に親しむことができる。【②、④：取り組み状況】		
通 年	体育理論	・スポーツの文化的特性や現代のスポーツ発展について活動を通して、学習に主体的に取り組もうとすることができる。【①、②：WS】		

🔗最終評価（自己評価／実際評価）

①技能		②関心・意欲・態度		③知識・理解		④思考・判断・表現	

